

---

● ————— ★ ————— ●

【点野】

藤本 小一 さん (74才)

---

● ————— ★ ————— ●

戦争中、寝屋川市葛原へ焼夷弾が投下された状況について、点野地区ではその時に見た人はいなかったが、もし見た人があったとしても、高齢のため亡くなったり、認知症で記憶が確かでなく聞くことができません。

投下された焼夷弾が数十個かそれ以上の数であったかわかりません。

焼夷弾が投下されて1日後に、田や畑に落ちていた焼夷弾をスコップで掘り返して、6個ほど持ち帰ったという数人の人たちより聞いた話ですが、点野に帰宅するまでに巡査に話をしたところ、実験をしてみようと十数人の人たちと一緒に村はずれまで行き（現在の市道平池・点野線）、藁などを燃やしてその上へ不発弾を1個置いて突っ突いたりしていた。（その前に投げ付けたり、たたいたりしていた。）私も見ていたが、数分後、2、3人が帰宅したところ大音響がし、多数の人が集まってみると、爆発した切れ端が警官の足を直撃し、川へ吹き飛ばされた警官は数人で助け上げられて病院へ運ばれました。

他にも2人ほど軽傷者があったと聞きました。

また、後日枚方の病院へ見舞いに行った人が、その帰り道で空襲にあい、500キロ爆弾が田井の堤防付近の田や畑に落ちたそうです。

大きな穴があいたが、長い間放置されたままだったそうです。

木屋の淀川堤防付近の牧場付近も被弾があったそうです。

